



甲府盆地



世の中には不思議で分かりづらいことがたくさんあります。自然、科学、歴史など、詳しい先生に解き明かしてもらいましょう。

甲府市の昼と夜 なぜ気温差が激しいの？

秋も深まってだいぶ寒くなってきましたが、皆さん体調を崩したりしていませんか？ 甲府市で暮らしている人は、昼はお天気がよく暖かかったのに、明け方になるとびっくりするほど冷え込んで寒くて目が覚める、ということがよくあると思います。

同じ緯度の町と差

観測データから見ても、甲府市での11月の日最高気温(日中一番暑い時の気温)と日最低気温(夜間一番寒い時の気温)の差は平均して10・9度ですが、同じくらいの緯度にある東京都八王子市ではそれが9・4度となっております。甲府市の方が昼と夜の気温差が激しいことがわかります

(※注)。

どうして、甲府市はほかの町に比べて昼間暑くなりやすく、夜は冷え込みやすいのでしょうか？ それは甲府市が東西南北を山に囲まれた盆地の底にある町だからなのです。

からののです。

盆地特有の風向き

晴れた穏やかな日の昼間は地面が太陽の光で暖められ、地面からの熱で盆地斜面に近い空気が暖められます。暖められた空気は軽くなって斜面に沿って上へ昇っていき、ぐるっと回って盆地の底へ上から降りてきます。盆地の底では地面からの熱に加え、斜面で暖められた空気によって熱が運ばれてくるので、平地よりも気温が上がりやすくなるのです。

このような昼と夜で変化する特徴的な風の流れを、気象学では「盆地循環」と呼びます。

穏やかな日に顕著

盆地循環は日射によって起こる弱い風の流れなので、台風、低気圧、前線など激しい現象が来ている時にはつぶされてしまいます。そのため、盆地循環は晴れた穏やかな日に特によく見られます。

そんなわけで、晴れた穏やかな日の甲府ではどうしても昼と夜の気温差が大きくなりますので、昼間暖かくても油断せずに朝晩に備えて上着を用意し、夜はしっかりと毛布や布団をかけて寝るようにしましょう。

(山梨大特任助教 相馬 一義)

斜面に沿って下へ降りて行きます。盆地の底では地面に熱を奪われるだけでなく、斜面からの冷たい空気がたまっていくため、平地よりも気温が下がりやすくなります。

(※注) 1991年から2000年の10年分について、11月の30日間それぞれの日最高気温と日最低気温の平均を取っています。

